

5軒に1軒が空き家といわれる生野区。戦時中、空襲の被害が少なかった生野区は、今でも戦前の家屋が数多く残っている地域です。風変わりな間取りや、増改築の跡、美しい建具等々、一軒一軒異なる個性をもつそれらの物件には、現代の建売住宅にはない魅力があります。「シリーズ・空き家探訪記」では、様々な人と生野の空き家との出会いを取り上げ、それぞれの暮らしと間取りを重ね、理想の住まいを思い描きます。

紹介写真
など

第7回

大阪デザイン教育研究所

メンバー：高繁寧音

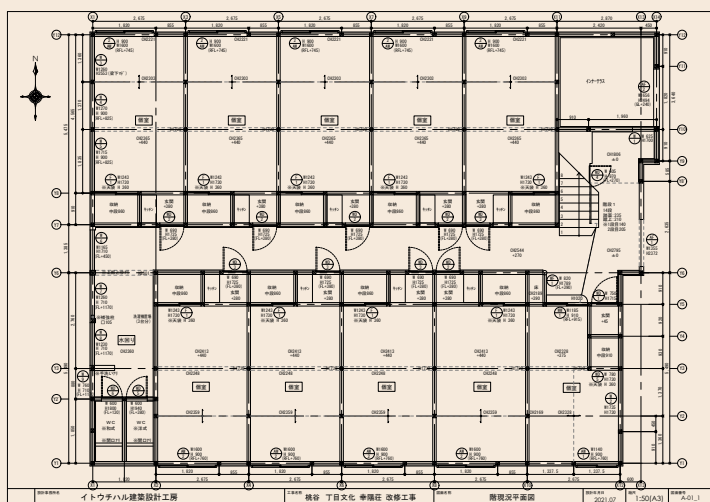
近くに学校があったり、スーパーがあっていろんな人が買い物したり、いろんな人が住んでいるところにあった物件。賑やかな場所という印象がありました。なので地元の人たちが気軽にコミュニケーションをとりながら、健康を維持できる場所があれば、

漢方外来や、整骨院で自分の体の不調の原因を探したり、助産師さんやご年配の方とお話したり、オーソモレキュラーを意識した小さな居場所を考えました。

ここがイチオシ！

物件

- ・玄関の床や階段の模様が可愛い！
- ・駅チカ！



※ortho：整える molecular：分子 という意味
生体内の分子を整えることで治療を行う医学

